

2015年度 特許情報分析セミナー

# EXCELによる独自の特許情報分析

手作りの特許情報分析ツールの作り方  
EXCELの機能、各種関数を駆使した特許情報の加工と分析の実践

B  
10

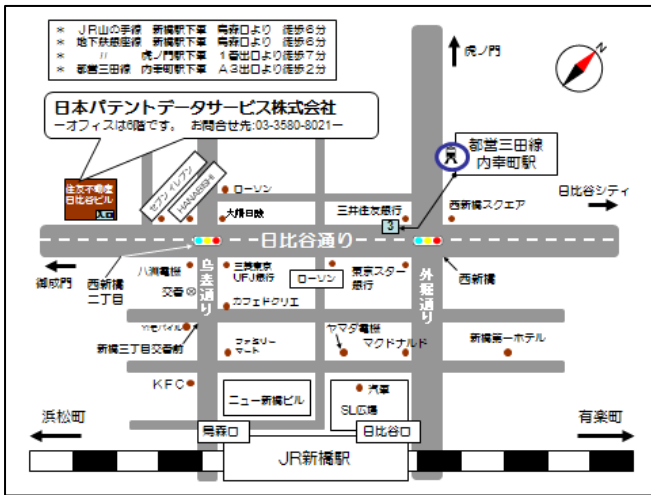
PC  
実習

入門 ← レベル → 上級

本セミナーは特許検索の結果をいかに活用するか、見た目にとらわれないEXCELの使い方をマスターし、自らのテーマや分析にあった分析ツールを作ることを目的としたセミナーです。

特許情報の企業活動に与える影響、製品の企画に活用できる分析ツールを作る様々なヒントをお伝えします。一人一台のパソコンを駆使した徹底した実践を交えたコースです。

調査担当者、技術・研究部門の担当者など調査分析を行う人に最適です。市販の分析ツールでは得られない手作りの特許情報分析ツールを作りましょう。



**講師：**国司 洋介  
(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構  
石油開発技術本部  
元 信越ポリマー(株) 研究開発センター

**場所：**日本パテントデータサービス(株) セミナー室  
東京都港区西新橋2-8-6  
住友不動産日比谷ビル6F

**時間：**1日間コース (午前 10:00～午後 4:00)

**受講料：**20,000円 (税別)

**定員：**24名 (先着順申し込み)

**日程：**12月9日 (水)

【申込方法】 FAXまたはeメールでお受けいたします。FAX: 03(5512)7810 メール: chizai-semi@jpds.co.jp  
(受講票をメールまたはFAXにてお送り致します。5営業日以内に届かない節はご一報ください。)

【キャンセル】 セミナー開催日前10日以降にキャンセルされた場合には、受講料を請求させていただきます。但し、講師の都合などで急遽開催が見送られた場合には受領済みの受講料を返却させていただきます。

お申込日 年 月 日

「EXCELによる独自の特許情報分析」申込書

日本パテントデータサービス株式会社 知財研修部 行 (FAX: 03-5512-7810)

会社名				部課名		
住所	〒					
TEL				FAX		
参加希望日:	<input type="checkbox"/> 12月9日					
受講者氏名				所属		
E-mail				調査経験	<input type="checkbox"/> 有( 年) <input type="checkbox"/> 無	
				弁理士番号		
受講者氏名				所属		
E-mail				調査経験	<input type="checkbox"/> 有( 年) <input type="checkbox"/> 無	
				弁理士番号		
支払方法	<input type="checkbox"/> 単独請求書・銀行振込 <input type="checkbox"/> 当日現金 <input type="checkbox"/> 合算請求(お取引コード: )					
備考:	※弁理士の方は弁理士(登録)番号をご記載ください。(本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。)					

## セミナースケジュール (EXCELによる独自の特許情報分析)

午前 10:00	講師ご紹介
10:05	<b>第1部 特許情報</b> 特許制度と特許情報 検索と解析
10:30	<b>第2部 テキスト処理と集計(パテントマップ)</b> ①出願人の集計 ②出願年の切り出しと和暦 - 西暦変換 CSVデータ 集計/クロス集計(ピボットテーブル) テーブルの検索(LOOKUP/VLOOKUP/MATCH) 文字列処理関数[文字列の抜き出し、文字列の置き換え] コピーと貼付け [コピーと貼付け、形式を指定しての貼付け、転置] ③公報番号の変換 ④LIST形のパテントマップ ハイパーリンク
11:45	昼休憩
12:45	<b>食後の一休み：戦力としての「数」と「質」</b> 日本海海戦のシミュレーション (ランチェスターの法則と数値モデル) 相対参照と絶対参照  <b>第3部 パテントマップ (実際のマクロ解析)</b> ①IPC/発明者の集計 区切り文字の処理 集計レベルと重複排除 セルの参照 (offset/indirect) 論理演算(AND/OR/NOT)
14:20	休憩
14:30	②文書処理入門 キーワードの抜き出し (区切り文字の利用)
15:00	<b>第4部 GrainGrowth マップと事例 (可視化ツールと付き合い方)</b> 文書の類似度と可視化 事例 インクジェット周辺技術・太陽電池・出願人動向など  <b>第5部 まとめ</b> ・手作りツールのメリットとデメリット ・解析手法の組み合わせ  質疑・応答
16:00	終了

### 【備考】

- ・ 本講座は、関数やマクロについての基礎知識を身につけた方を受講対象にしております。
- ・ 各人1台のパソコンを使用してのツール作成演習を予定しております。
- ・ セミナーで使用したデータは参加者の皆様へ配布いたします。また、当日の演習で作業された結果などはUSBメモリ(100MB以上の空き)をご持参頂ければお持ち帰り頂けます。
- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。可能な限りお答えさせていただきます。